

学校の取組みに係る確認事項（案）

- 1 学校としてどのようなねらいを持っていじめ対策の取組みを行っているか（特に意識していることなど）。
- 2 どのようなときに学校いじめ防止等対策委員会を開催しているか。
- 3 学校いじめ防止等対策委員会における対応方針の検討方法について。
- 4 1のねらいを実現するために、いじめ対策担当教諭を中心に、どのような取組みを行っているか（効果が見られる場合はどのような効果が見られるか）。
例) 【児童の自己有用感の高まり】
 - ・ペア学年を設定し、年間を通して計画的に異学年交流を実施している。児童の自己有用感、他者への思いやりの気持ちが高まっている。（仙台市生活状況調査の当該項目が高いことや、授業における児童の振り返りの記載などから）【若手教員の対応力向上】
 - ・職員会議で事例検討を必ず行い、先輩教員から対応のスキルを学ぶようにしている。いじめ対応に関する教員の意識が高まり、軽微なことでも報告・連絡・相談するなど、組織的対応を心掛ける教員が増えてきている。
- 5 いじめ対策担当教諭の取組みとして、今後力を入れていきたいものは何か。
例)
 - ・児童会・生徒会と連携した活動
 - ・授業や各種活動等でのいじめ対策に関わる計画の立案
 - ・児童生徒への校内相談窓口や関係機関に関する広報・周知
 - ・校内の巡回（登校時、朝の会、行間、昼休み、掃除、放課後等）
 - ・いじめに係るアンケートの企画、学校全体の状況の集約（分析、対策の検討）
 - ・いじめ防止や対応に係る校内研修の企画・実施
 - ・相談対応、相談に係る調整
 - ・校内指導体制の整備、学校いじめ防止等対策委員会の運営
 - ・学級担任の支援（アセスメント、助言等）
 - ・若手教員の支援（OJT等）
 - ・事案に応じたスクールカウンセラー及び関係機関等との連携・調整
 - ・保護者や地域等に対する、学校の取組みの周知など

6 5の理由について。

例) 【児童会・生徒会と連携した活動】

・活動が形骸化してきているため

【保護者や地域等に対する、学校の取組みの周知】

・地域の方と連携した取組みを増やしていきたいため など

7 児童生徒のいじめの未然防止、対応力等に係るスキルについて、どのように実態を把握しているか。また、その育成や改善をどのように図っているか（工夫している点があれば工夫点も）。

8 7に関連する教員の指導力の向上に向けて、どのような取組みを行っているか。

9 学校におけるいじめ防止の対応や取組みに関して、保護者に周知するための工夫。

例) ・年度はじめの保護者会総会や懇談会等でのスクールロイヤーの動画視聴

・学校だより、学年だより等で学校の取組みを紹介

・生徒指導だよりを活用して保護者の意見を聴取

・児童生徒が行ういじめの未然防止に係る取組みについて、校内に掲示 など

10 児童生徒間で対人関係のトラブルが多発している際の指導体制について。

例) ・見守り体制の強化

・児童生徒、保護者が学校に相談しやすいよう、お便りなどで相談体制を明示 など

11 学校だけでの対応が困難なケースについて、考えている対策や対応事例。

例) ・スクールロイヤーの活用

・関係機関との連携 など